

登録コード	SF418300	開講年度	2026					
授業題目	野外調査実習				担当教員	榊原 厚一		
英文授業名	Field Practical Training in Environmental Science III				副担当	岩田 拓記・國頭 恭・村越 直美・朴 虎東・牧田 直樹		
単位数	1	講義期間	後期(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学年	3年
講義室			授業形態	実習	遠隔授業科目		備考	必修 担当：物質循環コース全教員・宮原・笠原（湖沼高地環境教育研究センター）
信大コンベンション	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】			
	2 6 Sカリ, 2 5 Sカリ, 2 4 Sカリ, 2 3 Sカリ							
	【2023年度以降加わらず対象】理学の各分野における専門知識				卒業研究を行う上で必要な野外調査の手法や技術を取得する。			
	【2023年度以降加わらず対象】専門知識や観察・実験などによって問題を理解・解決し、その成果を的確に他者に伝える力				卒業研究を行う上で必要な野外調査の手法や技術を取得する。			
	【2023年度以降加わらず対象】理学の基礎知識と専門知識を活用して課題を発見し取り組み、その成果を社会に役立てる力				データの解釈や考察ができるようになる。			
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、環境共生、防災減災							
(3)全学横断特別教育プログラム	環境マインド実践人材養成コース							
(4)授業の概要	システム解析学実習IIに準ずる。							
(5)授業のキーワード	野外（フィールド）実習，観測，観察，測定，調査							
(6)授業計画	物質循環学実習IIに準ずる。 最後に授業のふりかえりを入力する。							
(7)成績評価の方法	実習への参加状況，課題への取り組み等により総合的に評価する。							
(8)成績評価の基準	総合評価（100点満点）により，S： 90点，90点>A 80点，80点>B 70点，70点>C 60点，D<60点とする。							
(9)事前事後学習の内容	野外調査の下調べ，資料作成，調査後の分析作業，調査レポート作成などを行う。							
(10)履修上の注意	履修に際しては「安全の手引き」を参照すること。 学生保険に加入すること。							
(11)質問,相談への対応	各担当教員が，随時受け付ける。							
【教科書】	指導教員の指示にしたがう。							
【参考書】	指導教員の指示にしたがう。							